



2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404
 ファイナンス部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 2022年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	139,147	—	6,877	△31.0	7,965	△28.8	4,723	△40.1
2021年12月期第2四半期	160,300	△3.4	9,971	14.2	11,186	15.7	7,880	25.4

（注）包括利益 2022年12月期第2四半期 17,758百万円（28.9%） 2021年12月期第2四半期 13,773百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	73.36	—
2021年12月期第2四半期	121.54	—

（注）第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、当該基準等を適用する前の前第2四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。

なお、2021年12月期第2四半期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は0.9%増であります。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	365,007	250,959	68.6
2021年12月期	356,745	241,177	67.5

（参考）自己資本 2022年12月期第2四半期 250,539百万円 2021年12月期 240,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2022年12月期	—	40.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2022年12月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,000	—	15,000	△22.3	16,000	△26.3	11,000	△18.6	170.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しているため、当該基準等を適用する前の2021年12月期の売上高に対する対前期増減率は記載しておりません。なお、上記連結業績予想の売上高は、2021年12月期に当該基準等を適用したと仮定して算定した売上高（292,557百万円）に対して2.9%の増収となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）上海江崎格力高閲発食品有限公司、除外 1社 （社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	68,468,569株	2021年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	4,889,788株	2021年12月期	3,576,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	64,387,282株	2021年12月期2Q	64,839,893株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、経営成績及び各セグメントにおける比較につきましては、2021年1月1日から2021年6月30日までの6ヶ月間を「組替後前年同期」として算出した参考数値と比較しております。

当第2四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）における我が国経済は、感染対策等により経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあり一部持ち直しの動きが見られた一方で、原材料価格上昇や金融資本市場の変動等を注視する必要があり、依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、菓子・食品部門、乳業部門は組替後前年同期を下回りましたが、冷菓部門、食品原料部門、健康事業を含むその他部門が組替後前年同期を上回りました。また、海外部門においては、中国国内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う上海でのロックダウンにより2ヶ月半にわたり生産活動を一時停止した影響を受けたものの、他地域で販売を拡大したことで組替後前年同期を上回ったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は139,147百万円となり、組替後前年同期（137,974百万円）に比べ0.9%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、食品原料部門を除く全ての部門で上昇したため組替後前年同期に比べ2.4ポイント上昇しました。また、中国上海でのロックダウンにより大幅な固定費負担増となりました。

その結果、営業利益は6,877百万円となり、組替後前年同期（9,971百万円）に比べ3,094百万円の減益となりました。経常利益は営業利益段階での減益等により、7,965百万円となり、組替後前年同期（11,186百万円）に比べ3,220百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、中国における新型コロナウイルス感染症拡大に伴うロックダウンによる損失計上等により、4,723百万円となり、組替後前年同期（7,880百万円）に比べ3,157百万円の減益となりました。

各セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
菓子・食品	32,070	31,570	△499	△1.6	2,314	2,599	284	12.3
冷菓	34,607	35,760	1,152	3.3	2,088	1,046	△1,042	△49.9
乳業	34,782	33,018	△1,764	△5.1	1,089	128	△960	△88.2
食品原料	5,098	5,246	148	2.9	558	645	87	15.6
海外	22,814	24,638	1,824	8.0	2,126	△322	△2,448	—
その他	8,600	8,912	311	3.6	645	612	△33	△5.1
調整	—	—	—	—	1,147	2,166	1,018	88.7
合計	137,974	139,147	1,173	0.9	9,971	6,877	△3,094	△31.0

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<菓子・食品部門>

売上面では、“DONBURI亭” “ポッキー”等は組替後前年同期を上回りましたが、“神戸ローストショコラ” “アーモンドピーク”等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31,570百万円となり、組替後前年同期（32,070百万円）に比べ1.6%の減収となりました。

利益面では、販売促進費及び広告費の減少等により、営業利益は2,599百万円となり、組替後前年同期（2,314百万円）に比べ284百万円の増益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、“ジャイアントコーン”等は組替後前年同期を下回りましたが、“セブンティーンアイス”、卸販売子会社の売上高等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35,760百万円となり、組替後前年同期（34,607百万円）に比べ3.3%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は1,046百万円となり、組替後前年同期（2,088百万円）に比べ1,042百万円の減益となりました。

<乳業部門>

売上面では、“プッチンプリン”等は組替後前年同期を上回りましたが“BifiXヨーグルト”“朝食りんごヨーグルト”等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は33,018百万円となり、組替後前年同期（34,782百万円）に比べ5.1%の減収となりました。

利益面では、減収及び売上原価率の上昇等により、営業利益は128百万円となり、組替後前年同期（1,089百万円）に比べ960百万円の減益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、“A-グル”“E-スターチ”等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,246百万円となり、組替後前年同期（5,098百万円）に比べ2.9%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は645百万円となり、組替後前年同期（558百万円）に比べ87百万円の増益となりました。

<海外部門>

売上面では、地域別において、中国では上海でのロックダウンの影響で生産活動を一時停止したため組替後前年同期を大きく下回りましたが、ASEAN、米国等では組替後前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24,638百万円となり、組替後前年同期（22,814百万円）に比べ8.0%の増収となりました。

利益面では、中国上海でのロックダウン期間中の固定費負担等により、営業利益は△322百万円となり、組替後前年同期（2,126百万円）に比べ2,448百万円の減益となりました。

<その他部門（健康事業含む）>

売上面では、“アーモンド効果”“パワープロダクション”等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,912百万円となり、組替後前年同期（8,600百万円）に比べ3.6%の増収となりました。うち、健康事業においては、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,417百万円となり、組替後前年同期（6,230百万円）に比べ3.0%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は612百万円となり、組替後前年同期（645百万円）に比べ33百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は365,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,262百万円増加しました。流動資産は173,019百万円となり、5,606百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品等が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものです。固定資産は191,988百万円となり、13,869百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定、投資有価証券の増加等によるものです。

負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は114,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,518百万円減少しました。主な要因は、未払費用の減少等によるものです。

純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は250,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,781百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により2,272百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益4,723百万円を獲得したこと及びその他有価証券評価差額金が1,974百万円、為替換算調整勘定が10,326百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は68.6%（前連結会計年度末比1.1ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2022年2月14日の「2021年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想数値を下記のとおり修正いたします。

2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	303,300	20,500	22,000	14,000	215.74
今回修正予想（B）	301,000	15,000	16,000	11,000	170.84
増減額（B－A）	△2,300	△5,500	△6,000	△3,000	-
増減率（％）	△0.8	△26.8	△27.3	△21.4	-
（ご参考） 組替後前年通期実績※	292,557	19,307	21,708	13,519	208.44

※当社は、第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、前年通期実績については、2021年1月1日から12月31日までの12ヶ月間の実績をもとに算出した参考数値となります。

売上面につきましては、中国上海での新型コロナウイルス感染症拡大に伴うロックダウンにより生産活動を一時停止したことから当初の予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、中国上海でのロックダウン期間中の固定費負担に加え、売上原価率の上昇等により当初の予想を下回る見込みです。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,026	91,298
受取手形及び売掛金	42,898	38,625
有価証券	219	242
商品及び製品	15,000	19,152
仕掛品	838	963
原材料及び貯蔵品	12,316	13,260
その他	5,409	9,564
貸倒引当金	△83	△89
流動資産合計	178,626	173,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,638	38,982
機械装置及び運搬具（純額）	30,374	28,755
工具、器具及び備品（純額）	4,132	4,271
土地	15,969	16,102
リース資産（純額）	697	2,022
建設仮勘定	10,268	16,736
有形固定資産合計	101,080	106,870
無形固定資産		
ソフトウェア	4,340	4,053
ソフトウェア仮勘定	11,020	13,603
のれん	391	421
その他	214	199
無形固定資産合計	15,967	18,277
投資その他の資産		
投資有価証券	41,627	46,867
退職給付に係る資産	4,340	4,626
投資不動産（純額）	12,213	12,235
その他	3,223	3,150
貸倒引当金	△334	△39
投資その他の資産合計	61,071	66,840
固定資産合計	178,118	191,988
資産合計	356,745	365,007

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,373	31,721
短期借入金	232	180
未払費用	25,293	20,186
未払法人税等	3,207	2,781
返金負債	—	7,181
販売促進引当金	4,106	—
役員賞与引当金	67	—
株式給付引当金	21	—
債務保証損失引当金	—	122
その他	6,848	5,723
流動負債合計	72,150	67,897
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,044	30,033
長期借入金	77	—
退職給付に係る負債	1,299	1,418
繰延税金負債	7,006	8,178
その他	4,988	6,520
固定負債合計	43,416	46,150
負債合計	115,567	114,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,959	9,967
利益剰余金	214,795	216,352
自己株式	△9,057	△13,869
株主資本合計	223,470	220,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,277	13,251
繰延ヘッジ損益	253	1,065
為替換算調整勘定	4,758	15,084
退職給付に係る調整累計額	1,030	912
その他の包括利益累計額合計	17,320	30,314
非支配株主持分	386	419
純資産合計	241,177	250,959
負債純資産合計	356,745	365,007

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	160,300	139,147
売上原価	83,582	87,696
売上総利益	76,717	51,451
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	15,172	12,740
販売促進費	19,803	3,928
販売促進引当金繰入額	3,625	—
広告宣伝費	4,380	3,753
退職給付費用	234	128
その他	23,528	24,023
販売費及び一般管理費合計	66,745	44,574
営業利益	9,971	6,877
営業外収益		
受取利息	170	188
受取配当金	333	365
為替差益	43	—
補助金収入	317	416
不動産賃貸料	278	262
その他	665	832
営業外収益合計	1,809	2,065
営業外費用		
支払利息	19	45
為替差損	—	55
固定資産除却損	74	71
固定資産廃棄損	9	256
債務保証損失引当金繰入額	—	122
その他	491	425
営業外費用合計	594	977
経常利益	11,186	7,965
特別利益		
固定資産売却益	739	—
投資有価証券売却益	—	20
特別利益合計	739	20
特別損失		
投資有価証券売却損	40	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	476
特別損失合計	40	476
税金等調整前四半期純利益	11,885	7,510
法人税、住民税及び事業税	3,894	2,753
法人税等調整額	104	21
法人税等合計	3,998	2,775
四半期純利益	7,886	4,734
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,880	4,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	11

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,473	1,974
繰延ヘッジ損益	452	812
為替換算調整勘定	2,831	9,689
退職給付に係る調整額	△56	△117
持分法適用会社に対する持分相当額	185	665
その他の包括利益合計	5,886	13,023
四半期包括利益	13,773	17,758
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,745	17,718
非支配株主に係る四半期包括利益	28	40

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

自己株式の取得

当社は、2022年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,352,900株の取得を行いました。この取得により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が4,999百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年1月1日至2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 及び包括利益計算書 計上額 (注) 3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	38,994	39,470	39,399	5,110	28,006	150,980	9,319	160,300	—	160,300
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	313	34	2	118	—	468	6,046	6,515	△6,515	—
計	39,307	39,504	39,401	5,228	28,006	151,449	15,365	166,815	△6,515	160,300
セグメント利益又は 損失 (△)	2,314	2,088	1,089	558	2,126	8,178	645	8,823	1,147	9,971

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康事業、オフィスグリコ事業及びシステム保守開発事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額1,147百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額801百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等346百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年1月1日至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 及び包括利益計算書 計上額 (注) 3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	31,570	35,760	33,018	5,246	24,638	130,235	8,912	139,147	—	139,147
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	352	25	2	114	—	495	5,312	5,807	△5,807	—
計	31,922	35,785	33,021	5,361	24,638	130,730	14,224	144,954	△5,807	139,147
セグメント利益又は 損失 (△)	2,599	1,046	128	645	△322	4,098	612	4,710	2,166	6,877

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康事業、オフィスグリコ事業及びシステム保守開発事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額2,166百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額813百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等1,352百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

決算短信補足説明資料

-22年12月期 第2四半期決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	21/12期 (1月-6月) 組替後	22/12期 (1月-6月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	137,974	139,147	1,173	0.9
営業利益	9,971	6,877	▲ 3,094	-31.0
経常利益	11,186	7,965	▲ 3,220	-28.8
当期純利益	7,880	4,723	▲ 3,157	-40.1

(2)営業利益の状況

単位：百万円

	21/12期		22/12期	
	(1月-6月) 組替後	売上比(%)	(1月-6月) 実績	売上比(%)
売上高	137,974	100.0	139,147	100.0
売上原価	83,582	60.6	87,696	63.0
売上総利益	54,391	39.4	51,451	37.0
運賃保管料	11,959	8.7	12,740	9.2
販売促進費	4,315	3.1	3,928	2.8
広告費	4,380	3.2	3,753	2.7
人件費・厚生費	14,030	10.2	14,722	10.6
経費・償却費	9,732	7.1	9,429	6.8
販売費及び一般管理費	44,419	32.2	44,574	32.0
営業利益	9,971	7.2	6,877	4.9

営業利益の増減要因	対21/12期 (1月-6月)	
	内 国内	
①売上高増減による増減益	542	▲ 279
②販売品種構成の変化等による増減益	▲ 972	▲ 535
③原材料価格変動による増減益	▲ 2,610	▲ 1,781
④運賃保管料比率変動による増減益	▲ 679	277
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	1,014	1,344
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 389	329
合計	▲ 3,094	▲ 645

(3)セグメント別売上高の状況

*以下のカテゴリー別売上高の数値については、管理会計上の集計数値です。

単位：百万円

セグメント	カテゴリー	21/12期 (1月-6月) 組替後	22/12期 (1月-6月) 実績	前年同期比	
				金額	増減率(%)
菓子・食品	チョコレート	16,430	15,715	▲ 714	-4.4
	ビスケット	9,257	9,301	43	0.5
	加工食品	5,750	5,879	128	2.2
	その他	631	673	42	6.7
	計	32,070	31,570	▲ 499	-1.6
冷菓		34,607	35,760	1,152	3.3
乳業	発酵乳	7,699	6,271	▲ 1,428	-18.5
	牛乳・乳飲料	10,416	9,994	▲ 421	-4.1
	果汁・清涼飲料	9,710	9,477	▲ 232	-2.4
	洋生菓子	4,894	5,225	331	6.8
	ベビー・育児	2,061	2,048	▲ 13	-0.7
計	34,782	33,018	▲ 1,764	-5.1	
食品原料		5,098	5,246	148	2.9
海外		22,814	24,638	1,824	8.0
その他	うち健康	6,230	6,417	186	3.0
	計	8,600	8,912	311	3.6
合計		137,974	139,147	1,173	0.9

(4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

セグメント	21/12期 (1月-6月) 組替後	22/12期 (1月-6月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子・食品	2,314	2,599	284	12.3
うち 菓子	2,203	2,472	268	12.2
うち 食品	110	127	16	14.9
冷菓	2,088	1,046	▲ 1,042	-49.9
乳業	1,089	128	▲ 960	-88.2
食品原料	558	645	87	15.6
海外	2,126	▲ 322	▲ 2,448	-
その他	645	612	▲ 33	-5.1
調整	1,147	2,166	1,018	88.7
合 計	9,971	6,877	▲ 3,094	-31.0

(5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。

また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

	21/12期 (1月-6月) 組替後	22/12期 (1月-6月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	645	430	▲ 214	-33.2
営業利益	50	▲ 47	▲ 98	-

◆ASEAN

単位：百万米ドル

	21/12期 (1月-6月) 組替後	22/12期 (1月-6月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	47	58	11	23.7
営業利益	▲ 3	▲ 3	0	-

※21年12月期2Qの実績は、22年12月期2Qの平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

	21/12期 (1月-6月) 実績	22/12期 (1月-6月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	48	54	5	11.7
営業利益	18	13	▲ 4	-26.0

※米国については、連結ベースの数字です。